

事務事業名		森林鳥獣被害対策事業			会計	一般会計					
事業種別		政策			開始	S55	終了				
課等名	林務課	係等名	里山保全係								
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり								
	施策	11	支え、育む産業基盤づくり								
目的	対象(誰・何を)	人工林				対象指標	指標名及び単位		24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	人工林において、カモシカによる食害被害を防止する。そのために個体数調整(捕獲)を行う					カモシカによる造林被害団地数(団地)		4		
	向上させたい上位施策の成果指標	林業生産額(億円)									
目標	種別	指標名及び単位				24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	カモシカ個体調整頭数(頭)				4	4	5			
	定性目標										
事業概要	人工林において、ヒノキの幼齢木などへのカモシカによる食害被害拡大を防止するため、長野県が定めた特定鳥獣保護管理計画(カモシカ)の捕獲計画に基づき個体数調整を行う事業、平成22年度には新たに上村、南信濃の3箇所において農業被害の発生を防止するため実施する。										
24年度事業内容	事業内容				名称				活動指標		
	カモシカ個体数調整業務委託(飯田市連合猟友会)				個体調整頭数 程野、下栗、池口、本村 4団地				4頭		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		348	434	288	418	(そ)鳥獣飼養許可手数料					
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他		146	139	132	129						
一般財源		202	295	156	289						
人件費計(千円)②		0		536							
正規職員所要時間				150							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		348	434	824	418						
事業内容・目標達成状況の振り返り	目標の達成ができた。										
改革改善の考え方	①問題点	特定鳥獣保護管理計画に基づく捕獲を実施しているが、個体数は増加傾向にある。									
	②改革提案	捕獲だけの対策でなく、農地の防護対策等の指導も併せて実施していく必要がある。									